

超低遅延 8K HEVC エンコーダー「ELL8K」を開発 50ms の超低遅延に成功

この度、ミハル通信株式会社（本社 神奈川県鎌倉市／代表取締役社長 中村俊一※古河電工グループ）は、超低遅延 8K HEVC エンコーダー「ELL8K」を開発、8K 映像を同エンコーダーでエンコードした信号を、当社が開発したデコーダー経由で映像配信するシステムで、わずか 50ms※という超低遅延の映像配信に成功しました。（※当社計測器にて測定:コーデック遅延 30ms+伝送遅延 20ms）

当社では 2 年前より同エンコーダーの開発に着手、「8K 内視鏡手術映像の映像配信システム」を 2018 年の第 1 回 4K・8K 映像技術展で発表、また 2019 年には情報通信研究機構 NICT が主催した「さっぽろ雪まつり 8K 映像伝送実験」でも同エンコーダーが採用され、その性能が高く評価されました。一方で「8K 画質はよいのだが、導入するには数秒の遅延時間が長い」という問題にも直面、この問題を解決するのが、当社が開発した「ELL8K」です。

ELL8K は 8K 映像信号を約 150 分の 1 まで圧縮、圧縮した信号を IP 網経由でデコーダーに伝送して、8K テレビに表示する際に 50ms の超低遅延で表示できます。10 月に開催された「第 3 回 4K・8K 映像技術展（10/28～30 幕張メッセ）」にてこのデモ展示を行い、同エンコーダーの伝送前と、伝送後の映像を 2 台の 8K テレビで比較展示しました。多くの来場者が「肉眼ではほとんど遅延を感じない」と 50ms の超低遅延に驚かれていました。50ms の遅延時間は、今後さらに改良をすすめ短縮を目指し、2021 年度に製品化を予定しています。

ELL8K は 11 月 18 日から始まった「Inter BEE 2020 ONLINE(2021 年 2 月 28 日迄)」の当社特設サイトにて展示、デモの様子を収めた動画も公開されています。

記

■ ELL 8 K 製品イメージ（2021 年度製品化予定）



■ 第 3 回 4K・8K 映像技術展 デモ展示の様子



以上

ミハル通信について

ミハル通信は、ケーブルテレビ草創期の 1955 年に誕生したケーブルテレビ・通信・映像関連機器メーカーで、創業 65 年を迎えました。創業まもなく鎌倉に工場を構え、歴史ある鎌倉より最新の製品・ソリューションをお届けしています。設計から製造まで一貫して自社で行なうことを基本とし、高品質・短納期を実現してお客様のご要望にお応えして参りました。業界トップシェアで特長ある新製品サプライヤーとして、ケーブルテレビ事業継続に貢献し、画像処理技術を高め、一段上の事業レイヤーを目指します。

〈本文書に関するお問い合わせ先〉

ミハル通信株式会社 総務部 広報グループ

鎌倉本社 〒247-8538 神奈川県鎌倉市岩瀬 1285 TEL 0467-44-9111 FAX 0467-46-1615

メールアドレス mhr_eigyo@miharu.co.jp ホームページ <https://www.miharu.co.jp/>